

らくよう

楽しく 陽るく 荘全体で
お年寄りの人権を守ります。
その方らしい生活が出来るよう応援します。
最後までお世話させていただき準備が出来ています。
特別養護老人ホーム楽陽荘 平成30年8月号 NO. 300

< 少林寺拳法の慰問 >



7月14日、大西文雄先生、石広昭夫先生率いる少林寺拳法の豆拳士達が、日頃から鍛錬している技をお年寄りの皆さんに披露してくれました。元気いっぱい力強い拳士達の演武を見て、「かっこえなあ。」とお年寄りから拍手があがり、子供たちも少し誇らしそうな様子でした。演武の後は、みんなで餅つきをさせていただきました。「ペタン ペタン、ヨイショ ヨイショ」と手拍子と大きな声援のなかで、紅、白、よもぎ餅と三臼をつき、お年寄りの皆さんも「おいしいわあ。」と大変喜ばれました。豆拳士から元気をもらいお腹もいっぱい楽しい1日となりました。



< 七夕 >

七夕には、お年寄りが短冊にいろいろの願い事を書いて飾りました。やはり皆さんはご家族の事を案じておられる方が多く、ご家族の幸せを願って書いた短冊が笹に沢山結ばれていました。お供えへはスイカ、ナス、キュウリに五色の糸などを。おご馳走は素麺と巻き寿司等で、降り続く雨が早くおさまりますようにと願いながら頂きました。

< 老人会ボランティア >



7月20日、柞田老人会の皆様が奉仕活動に来て下さいました。男性の方は、この暑さの中流れる汗を拭きながら庭木の剪定や草引き、女性の方は園内の掃除や片付けなどをして下さり、さっぱりときれいになりました。作業をしながらもお年寄りに笑顔であいさつや声かけをして下さり、お年寄りも大変嬉しそうでした。老人会の皆様、本当にありがとうございました。



< 図書館へ外出 >

「図書館へ行って自分で選んで本を借りたいなあ。」という希望を話してくれる方がいました。それではと、本の好きな方達を誘い市立図書館へ出かけました。皆さん目を輝かせ本を夢中で選び借りて来ました。園に戻ってからも読書に忙しそうです。これからもその方らしく日々を楽しめるように様々な声を聞き、地域の中へ一緒にお出かけしたいと思います。図書館規定で館内撮影禁止なので写真がありません。

< 柞田保育所夕涼み会 >

6月30日、柞田保育所の夕涼み会があり楽陽荘の職員もお手伝いをしました。浴衣姿の可愛い子供達を横目に見ながらバザーや駐車場の誘導などを担当しました。楽陽荘では職員が「ボランティア楽陽」の名で市に登録し「地域とつながる」様々な実践活動をしています。これからも地域を大切に、みんなが元気に暮らせる様ボランティア活動に取り組みます。

< 編集後記 >

先日の豪雨では、身近な地域で本当に想像できない程多くの被害が出ました。自然の怖さを痛感すると共に防災についても考えさせられました。その時には、皆々様にもぜひご協力を頂きたいと思えます。そして、楽陽新聞も今回で300号になり、25年間続ける事ができました。これからも、皆様に楽しんでいただける新聞を作っていきたいと思っています。 広報担当：西山ま・内田・磯野